



ニチレイグループの企業経営理念

● ミッション ●

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する

ニチレイグループは、人々のくらしに本当に役立つ商品やサービスを一所懸命に創り出し、健康でこころの豊かな生活の実現に貢献します。

● ビジョン ●

ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として、社会とともに成長します。

● 発想と行動の原点 ●

ひたすらお客様のために！

● 経営姿勢 ●

1. お客様第一、安全第一、品質第一を貫く
2. 健全な利益を追求する
3. 付加価値を適正に配分する
4. 法と社会の秩序を守る
5. 公正な競争に徹する
6. 透明性の高い経営を推進する
7. 資源と環境を大切にす
8. 世界を見据える

● ステークホルダーのために ●

お客様に

ニチレイグループは、究極のお客様である生活者の方々に、真に役立つ商品とサービスを開発し、提供し続けます。そして、お客様と当企業グループが、共に繁栄できることを願って、永続的な相互信頼関係を築きます。

株主・投資家に

ニチレイグループは、より収益性の高い事業を選定・遂行して資本効率を高め、企業価値の向上を実現します。また、株主・投資家の方々に適正な還元を行います。

ビジネスパートナーに

ニチレイグループは、ビジネスパートナーの方々に、イコールパートナーとして公正な姿勢で臨み、信頼関係を築き、共存共栄を目指して相互発展に努めます。

従業員に

ニチレイグループは、従業員こそ企業発展の源であると考え、会社の仕事が従業員一人一人にとってやり甲斐のあるものであり、自己実現の場の一つとなることを願っています。同時に、従業員個人の尊厳と個性の発揮並びに個人生活の充実を尊重します。そのために、能力開発と能力発揮の機会の提供、能力と努力と成果に見合った処遇制度の実施、安全で風通し良く活性化された職場環境づくりを行います。また、性別・年齢・学歴・人種・宗教などに関するあらゆる差別をなくし、処遇の機会均等を実現します。

社会に

ニチレイグループは、地域社会に企業市民として参加し、事業活動を通じて社会の発展に貢献するとともに、ハンディキャップをもつ人々への支援や文化活動などへの参加と支援を継続的に進めます。

ニチレイグループ ブランドステートメント

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、グループトータルのネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。

トップメッセージ

企業の社会的責任を再認識した1年 『食を守り抜く』この使命を全うしていきます



代表取締役会長

浦聖光人

代表取締役社長

村井利彰

大災害を乗り越えて

甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から1年3ヶ月が過ぎました。

依然として約3千名の方々が行方不明であり、ご家族にとって心休まる日は今なお訪れておりません。改めて哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災ではニチレイグループ各社も被害を受け、特に東北地方では業務停止を余儀なくされた事業所が多数発生しました。しかし、被災した事業所従業員の必死の復旧作業や、全国ニチレイグループの仲間の知恵と汗を結集した支援活動により、物流拠点の立ち上げ、生産工場の稼働再開な

どを早期に実現することができました。

私たちニチレイグループは、食の安定供給という大きな社会的使命を担っています。震災の被災から得た数多くの教訓をもとに、従業員の安全確保を第一義とした上で、防災体制、事業継続計画、被災地支援策などの見直しをさらに推し進めます。

「6つの責任」を守り続ける

企業の根元的な存在意義は、事業活動を通して人々の生活や社会に寄与していくことにあり、ニチレイグループのミッション、ビジョンを正しい手段で実現していくことがCSR活動にほかならないと考えています。

当社グループは、CSRの基本方針として、「新たな顧客価値の創造」「働きがいの向上」「コンプライアンスの徹底」「コーポレートガバナンスの確立」「環境への配慮」「ニチレイらしい社会貢献の推進」という「6つの責任」を掲げています。これは、時代を越えて私たちが守り続けていく皆さまへの約束であり、あらゆる事業活動の基盤となるものです。

私たちの経営は、時代の変化を見極め、社会の要請に真摯に対応しながら、着実に「6つの責任」を果たしていくものだと考えています。

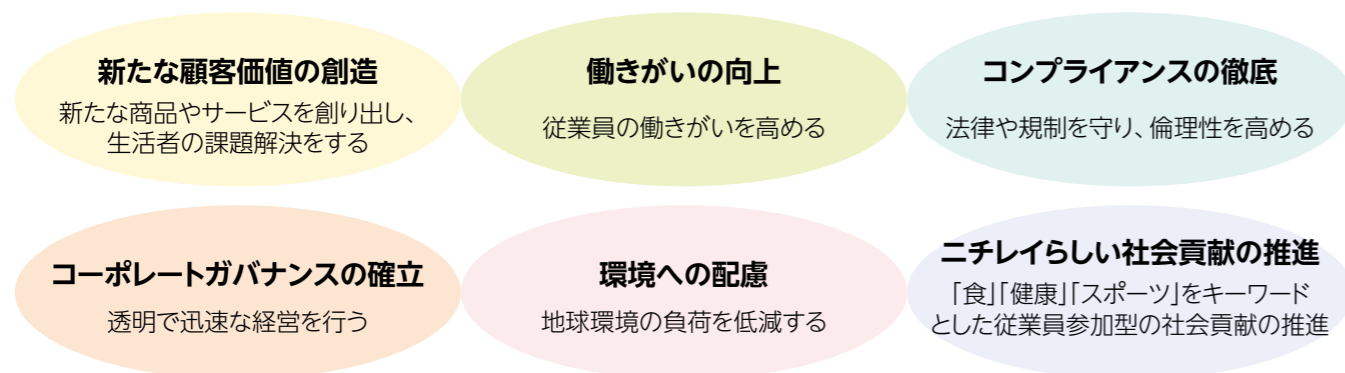
食の安全・安心・安定のために

このたびの東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故を受け、食品業界を取りまく環境は非常に厳しいものになっています。生活者の“食”を担う企業として、ニチレイグループが安全管理に万全を期すことは当然の責務です。当社グループでは、品質保証基本方針および品質管理規程に沿って、各事業会社の事業内容に応じた品質保証活動を行っています。グループや各事業会社の品質保証委員会が品質マネジメントの視点から商品・サービスを審査し、お客様の声を共有して、品質保証体制の継続的な改善に努めています。

ニチレイフーズでは、これまで品質保証部による生産工場の監査を実施していましたが、2012年度より社長直轄の「品質監査室」を独立した部署として新設し、監査業務を移管しました。これにより社内の品質保証監視機能がさらに強化されます。

また、当社グループの取り組みを皆さまにダイレクトにお伝

● ニチレイグループ6つの責任



えたいと考え、本CSRレポートでは、各事業会社の品質保証担当者や販売担当者が食の安全と信頼について議論した様子を掲載しています。

「食の安全・安心」に加えて、生命の源である食料資源の安定供給も、当然の責任として取り組んでいます。今後も品質管理体制の一層の強化を図るとともに、グループ内はもちろん、サプライヤーなどビジネスパートナーとの情報共有、お客様への迅速かつ正確な情報公開に努めていきます。

働きがいの向上はCSの源泉

ニチレイグループは、「顧客満足は従業員満足から始まる」との考えのもと、「働きがいの向上」に力を入れています。従業員が自分の会社や職場に不満を持っている、お客様やステークホルダーの方々に満足させることはできないからです。

そこで、各事業会社ごとに定期的に従業員満足度調査を実施し、その調査結果を活かした「従業員重視の職場づくり」を実践すべく、各社・各事業場の実情に適した改善施策を立案・実行しています。

2011年度はニチレイフーズとニチレイフレッシュで、ミッション・ビジョンの再制定や人事制度の改定を実施。加えてニチレイフーズでは、それらを従業員へ浸透させるため、経営層自ら全国の事業所を巡回しました。また、ニチレイロジグループでは従業員満足度調査の実施方法を、従来のアンケート形式からインタビュー形式に変更しました。具体的な取り組みや現場の生の声を踏まえた「働きがい向上につながる

● 中期経営計画 “energy 2012” (2010年度～2012年度)

- 1 収益力を向上させ、適正な経営資源の配分により持続的なグループの成長を実現
- 2 成長機会を迅速に捉え、基幹事業会社の自立的成長を推進
- 3 「食の安全・安定」という価値の提供を通じて社会からの信頼を獲得
- 4 経営品質のさらなる向上に取り組み、グループ競争力の源泉を強化
- 5 新規技術に関する情報収集分析力を強化し、グループの持続的成長に向けた新規ビジネスモデル創出につなげる
- 6 資本政策の一環として自己株式取得を検討
- 7 退職給付制度を再構築

おすすめアクション集」を作成したことによって、さらに一歩踏み込んだ「働きがいのある職場づくり」の活動につながっています。

企業の成長とは、従業員一人ひとりの成長の総和であると考えています。従業員が明るく働きがいのある職場で日々努力をし、成長・達成感を味わうことで、さらに働く意欲、働きがいが増していき、その結果が組織力の向上、ひいては企業の成長につながるものと信じています。

「6つの責任」を果たしていくための主役は、第一線のお客様と接している従業員にほかなりません。一人ひとりの従業員が働きがいを感じ、強い使命感を持って仕事に取り組んでこそ、CSR活動の確かな実践、さらなる進化につながるものと考えています。

今、地球環境のためにできること

2011年度は、電力使用規制が実施されるなど、「エネルギーと資源問題」が日本、そしてニチレイグループにとって大きな課題であることが再認識された年でした。

ニチレイグループは、資源・環境保護を経営の重要課題と捉え、「グループ環境方針」「グループ生物多様性方針」を策定し、各事業会社の事業特性に合わせた取り組みを実施しています。特に、気候変動は自然や生物にも大きな影響を与えることから、地球温暖化問題については国内グループ全体のエネルギー起源のCO₂排出総量削減目標を掲げ取り組んでいます。

2011年度は、前年度に比べ生産量が増加したことなども

あり、目標である2009年度比2%削減を達成することはできませんでしたが、夏季の節電や省エネ設備の導入などによる改善は着実に進んでいます。また、家庭での節電を推進するため、従業員向けのキャンペーンも夏季と冬季の節電要請にあわせて実施しました。

2012年度は、原子力発電所の再稼働が困難な状況で電力不足や発電コストの上昇が危惧されるため、従来以上に省エネ、電力の有効活用に積極的に取り組んでいく方針です。

2012年は、国連持続可能な開発会議「リオ+20*」の開催、日本の新たなエネルギー計画の策定などが予定されています。ニチレイグループも国際動向を注視しながら現状の活動を見直し、役割を果たしていければと考えています。

2012年度は、ニチレイグループの中期経営計画“energy 2012”の最終年度を迎えます。「昨日よりも今日、今日よりも明日へ」と成長の意思を強く持ち続け、計画目標の達成に向けて、グループの全従業員が協働し、将来の飛躍を見据えて次なる一歩を踏み出していきます。

今後も「6つの責任」に基づいたCSR活動に積極的に取り組むことで、ステークホルダーの皆さまから広く好感と信頼を寄せられる企業として成長を続けてまいります。皆さまの変わらぬご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

* リオ+20：「国連持続可能な開発会議」1992年リオデジャネイロで「国連環境開発会議(地球サミット)」が開催され「環境と開発に関するリオ宣言」やリオ宣言を具体化するための行動計画である「アジェンダ21」が採択され、今日に至る地球環境の保護や持続可能な開発の考え方に大きな影響を与えました。リオ+20は、1992年の地球サミットから20周年を迎えるのを機に、同会議のフォローアップのために開催されるものです。